

令和3年度

足立区避難所運営会議 本部長・庶務部長会議

ご意見・ご質問に対する回答

【 目 次 】

- 1 水害時の避難所運営等の対策について … P 1～8
- 2 避難所運営訓練等について … P 9～12
- 3 その他災害対策について … P13～14

【1 水害時の避難所運営等の対策について】

No.	意見・質問 (以下原文のまま)	災害対策課 回答
避難所の運営体制について		
1	<p>【避難所運営従事者の日頃からの連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区、学校、避難所運営会議との連携が大事。19号の時は若干ずれていた。 ・足立区危機管理部調整担当者と町会自治会役員との交流不足がある。又ある程度担当者も固定されていない部分が2年前の避難所開設時にあって、十分な能力発揮とはいかなかった。 ・普段からの関係者との連絡を取り合う事が大切。 	<p>令和元年台風第19号を教訓に「誰が・いつ・何をするか」を明確にし、水害時避難所運営手順書を作成いたしました。</p> <p>これからは、災害対策課職員が間に入り、避難所を運営する避難所運営会議、学校関係者および区派遣職員の3者が、顔合わせや役員会、訓練等を通して、日頃から顔の見える関係を築き、スムーズに避難所開設・運営ができるよう努めてまいります。</p>
2	<p>【避難所運営会議内の連絡体制】</p> <p>本部から連絡があった時に副本部長他各部の部長への連絡がスムーズに出来るようコミュニケーションを取り、組織の力を十分に発揮出来るよう努めたいと思います。</p>	<p>避難所の運営には、避難所運営会議の皆さまの力が不可欠です。また、日頃からいざという時に備え、避難所運営会議の一部の方だけでなく組織の全員が水害時避難所運営手順書を読み込んでいただくとともに、避難所運営訓練を通して習熟に努めてください。</p> <p>また、緊急時の連絡体制を確保できるようコミュニケーションを醸成するとともに、連絡訓練の実施も検討願います。</p>
3	<p>【避難所運営従事者へ手順書を周知】</p> <p>これだけ誌上(手順書)で準備されているのに、それを運営する人達(避難所運営会議内)に周知徹底されていないようです。それについても考えてもらいたい。</p>	<p>避難所を運営する避難所運営会議、学校関係者および区派遣職員の3者に対し、役員会等の場で水害時避難所運営手順書の内容を繰り返し説明するとともに、手順書に沿った訓練を実施し習熟を図ります。</p>
4	<p>【河川はん濫の恐れがある場合の連絡体制】</p> <p>(案) 荒川、隅田川氾濫の恐れがあった時には、区役所防災対策課より各町会の本部長・副本部長への連絡をして下さい。町会として電話を受けましたら各部長へ声を掛けて行きたい。</p>	<p>水害時避難所運営手順書にお示ししたとおり、河川のはん濫の恐れがある場合、区派遣職員から各避難所運営会議の本部長、副本部長および庶務部長に対し、避難所開設について電話で連絡いたします。電話を受けましたら、各部長・部員へ周知をお願いします。</p>
5	<p>【本部員が水害時に集まらない】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本部人員が集まらない(水が出ると集合出来ない)移動手段ない・・・船? ・「大雨特別警戒」など異常気象が日常化しつつあることを考えれば、その判断の難しさはあります。避難所への参加は無理です。 	<p>避難所の開設は、避難者のことも考え、台風最接近の24時間以上前を想定しています。避難所運営従事者の皆さまに対しては開設準備のため、さらにその5時間前を目安に参集していただきます。荒天する前に避難所運営会議の方へ連絡いたしますので、できる限り避難所への参集をお願いいたします。</p>
6	<p>【避難所運営会議のメンバー固定化】</p> <p>各町会において、避難所運営訓練の主要メンバーが毎年変わることもあって、初心者の訓練の様に毎年なる部分がある。メンバーを固定化出来ないか。</p>	<p>スムーズに避難所を開設・運営するには、避難所となる施設のことや手順書等について習熟する必要があるため、メンバーの固定化は有効な手段の1つと考えます。各避難所運営会議特有の事情がありますので、今後の運営方法・体制については、避難所運営会議の役員会等の場で協議し、よりよい体制を検討してまいります。</p>

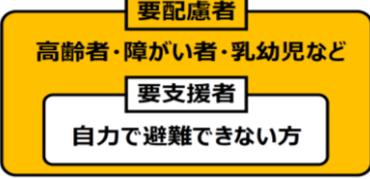
【1 水害時の避難所運営等の対策について】

No.	意見・質問 (以下原文のまま)	災害対策課 回答
7	<p>【共助を担う町会・自治会の高齢化】 防災対策についても、自衛消防隊を除けば、町会・自治会に委ねられているのが実態で、実働部隊は後期高齢者が主体で、体力的にも限界である。</p>	<p>町会・自治会の高齢化に伴い、避難所運営会議の組織も高齢化しています。活動が停滞している避難所運営会議の活性化も図るため、PTAの役員をはじめとした児童・生徒の保護者の皆さまや学校を利用しているスポーツ団体などに対し、避難所運営会議の一員としてご協力をお願いできるか検討してまいります。</p>
8	<p>【避難所運営会議の体制】 (興本小学校避難所運営会議において) 特に水害時には、2自治会は都住及びURなので、コンクリート作りの建物なので、避難をあまり必要がなく、副本部長さん以下の方々が協力してもらえるか、良く事前の話し合いが必要かと思えます。</p>	<p>興本小学校の周辺は、荒川はん濫時の想定浸水深が3m前後となっているため、都営住宅やURにお住まいの方でも低層階の方は、縁故等避難や避難所への避難を考える必要があります。自治会の方々にも、自身のことと捉え避難所運営会議に協力していただけるよう、区からも促してまいります。</p>
9	<p>【ボランティアの募集】 ボランティアの募集対策をする事。</p>	<p>避難された方にボランティアを募るため、受付に募集のチラシを掲示するとともに、ボランティア可否の項目欄を設けた「避難者カード」で、ご協力をいただけるか確認します。</p>
<p>避難所の使用方法について</p>		
10	<p>【受付のレイアウト】 受付での混雑が気になります。避難者カードなどの書き込み項目が多くて時間がかかりそうだと思う。机配置の工夫など書き込み場所を多くしないとダメかと思いました。</p>	<p>できる限り三密を防ぐためにも、手順書に記載している「フォーク並び」「並列型」など機の配置を工夫してください。また、各施設の事情に応じて、入り口や動線を分けるなどの配慮をお願いいたします。 なお、あまりにも受付の混雑がひどい場合は、検温など体調確認したうえで先に上層階へ避難していただき、避難者居室で避難者カードに記入いただくこともご検討ください。</p>
11	<p>【避難者居室のレイアウト】 昨年実施した運営会議で概ね理解されていると思われるが、個人のスペースが4㎡ではすぐ満杯になり、混乱が発生することが予想される。</p>	<p>感染症が流行している場合は、まずは避難者居室を1人あたり4㎡でレイアウトし受け入れてください。ただし、4㎡を確保できない人数が避難することが見込まれる場合は、受け入れを断ることなく、避難者に理由を説明するとともに、スペースを詰めていただきながら受け入れてください。</p>
12	<p>【避難者居室の作成】 避難者が増えて教室等、追加で開ける場合、机といす等に貼る番号付のはがしやすしいシールがあると速やかに部屋を作れると思います。</p>	<p>児童・生徒の部屋を避難者居室として作成する際に、机やいすに目印等を付けたい場合は、ご希望されているようなシールの備蓄はないため、備蓄物品にある養生テープに番号を書いて貼るなどの対応をお願いいたします。</p>

【1 水害時の避難所運営等の対策について】

No.	意見・質問 (以下原文のまま)	災害対策課 回答
13	<p>【体育館以外の避難】 今まで体育館が避難の中心でありました。これからは防災士などと相談しながら検討していこうと思っております。(ほか2件)</p>	<p>令和元年台風第19号時を教訓に、避難者を受け入れる居室は浸水しないフロアに設定することを基本とするとともに、最上階から避難者を案内することとしました。</p> <p>ただし、実際の水害時には想定外の事態が起こる可能性があるため、その際は防災士も含めた避難所運営従事者の中で相談し、避難所の運営をお願いいたします。</p>
14	<p>【上層階への移動】 実際には3階など垂直避難しなくてはならないので体育館からの移動する場合のシミュレーション的なことが必要と思われます(会場ごとで違ってくると思います)。</p>	<p>原則、避難された方は最上階から案内することとし、1階にある体育館など浸水するフロアは避難者用居室として使用しないでください。ただし、受付や避難所運営本部室、救護室などは浸水するフロアに設定することが多いため、緊急安全確保等の発令を想定し、上層階に移動するシミュレーションを訓練内容に盛り込むこともご検討ください。</p>
15	<p>【施設の利用範囲】 江北高校の施設利用レイアウトですが、保健室以外ほとんどが体育館を使うこととなっています。感染対策上では体育館は70名となっています。そこに運営本部、要支援者室、要配慮者室、感染症対策室、ペット室が体育館内です。他にも妊産婦用育児用の居室が必要となります。他の部屋も使わせていただかないとまずいのではないかと思います。学校関係者と検討していただきたいと要望いたします。</p>	<p>毎年、手順書の更新を図る機会などを捉え学校関係者と協議し、感染症対策居室や要配慮者居室、ペット動物専用居室など一般避難者用居室とは別にしたい方が望ましい居室から優先的に、施設利用の拡充を区から働きかけてまいります。</p>
16	<p>【避難所ルールの事前周知】 ペットの同行可、タオルは準備されていないなど、避難者側のルールについて別途周知徹底されるチャンスが準備されているか。</p>	<p>ペット動物同行避難や避難所へ避難する際の持ち物については、あだち広報や専用リーフレットを活用し周知するとともに、商業施設等にて啓発しています。</p> <p>また、避難情報発令する際には、避難所ルール等についても改めて周知徹底いたします。</p>
17	<p>【受付時の避難所ルールの周知】 対策についてはわかりやすかった。共通ルールを避難した人にわかりやすく伝える方法はどのようにすればいいのか？</p>	<p>避難所のルールが記載されている用紙「避難所をご利用の皆さまへ」を各避難所に備蓄しています。受付に掲示するとともに、受付時に避難者へ当該用紙を配付し周知してください。</p>
<p>新型コロナウイルス感染症対策について</p>		
18	<p>【新型コロナウイルス感染症の対策】 TV放送等の報告にもコロナ禍が先立ちます。</p>	<p>区としては、避難所での三密を避けるため、在宅避難や縁故等避難、避難所への避難を検討していただく「分散避難」のご協力をお願いしています。</p> <p>また、避難所では、受付時の検温・手指消毒や避難者居室の4㎡確保、発熱者などコロナ感染の疑いのある方を「感染症対策居室」へ誘導するなど、感染症対策を考慮した運営ができるよう避難所運営手順書を作成しました。</p>

【1 水害時の避難所運営等の対策について】

No.	意見・質問 (以下原文のまま)	災害対策課 回答
19	<p>【避難所運営のコロナ対策】 コロナ禍での避難所運営全般 感染リスク大、受入時/ソーシャルディスタンス/分離？/消毒用品</p>	<p>水害時避難所運営手順書は、受付時の検温・手指消毒や避難者居室の4㎡確保、発熱者などコロナ感染の疑いのある方を「感染症対策居室」へ誘導するなど、感染症対策を考慮した運営を盛り込んで作成しました。 また、感染症対策物品として、アルコール消毒液やマスク、非接触型体温計等を新たに備蓄しました。</p>
要配慮者の対応について		
20	<p>【要配慮者と要支援者の違い】 障がい者、要支援者、要配慮者の違いがよくわかりません。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・「要配慮者」とは、災害時において高齢者、障がい者、乳幼児その他の特に配慮を要する者としています（災害対策基本法）。 ・「要支援者」とは、要配慮者の中で高齢や障がい等により自力で避難できない方を「避難行動要支援者」といい、それを略して要支援者といいます。
21	<p>【電源が必要な方の受け入れ】 電源が必要な方の受け入れ方も知りたいです。荷物も多く必要だと思います。</p>	<p>電源が必要な吸引器や吸入器を使用する避難者が一次避難所に避難されることも想定されます。こういった方が避難された場合は、電源が確保できる居室（要配慮者居室）に案内してください。 現在、区では高齢の方や障がいをお持ちの方など自力で避難することが困難である”避難行動要支援者”が、水害時に第一次避難所ではなく福祉避難所等へ避難できるように「水害時個別避難計画」を優先度の高い方から順次作成しています。</p>
22	<p>【障がい者等の避難】 上記の方の早めの避難のため、災害時の声かけ等の連絡網も必要。</p>	<p>共助の観点から、地域で要支援者を把握し、いざという時に要支援者へ避難情報の周知や避難支援等進めていただきたいと考えております。</p>
23	<p>【要配慮者の避難】 都営住宅は、水害時は垂直避難ですので、心配なのは1号棟、8号棟一階に居住している車椅子世帯の方々です。19号台風の時は、紫磨園さんをお願いして、二世帯面倒を見ていただきました。</p>	<p>現在区では、高齢の方や障がいをお持ちの方など自力で避難することが困難である”避難行動要支援者”が、水害時に福祉避難所等へ避難できるように「水害時個別避難計画」を優先度の高い方から順次作成しています。 しかし、共助の観点から、町会・自治会内で要支援者の方を把握し、通所施設など日頃から関係のある福祉施設等と協力して避難を支援していただけると区としてはありがたいと思っております。引き続き、取り組みをお願いいたします。</p>
24	<p>【要支援者の情報】 災害支援を進める上で、障がい者や足の不自由な高齢者の避難所への誘導が大事だが、対象者の把握をするための情報が必要ではないか。</p>	<p>現在区では、高齢の方や障がいをお持ちの方など自力で避難することが困難である”避難行動要支援者”が、水害時に福祉避難所等へ避難できるように「水害時個別避難計画」を優先度の高い方から順次作成しています。 しかし、要支援者の方の情報は、個人情報保護の観点から現時点では提供することができないことをなにとぞご了承ください。</p>

【1 水害時の避難所運営等の対策について】

No.	意見・質問 (以下原文のまま)	災害対策課 回答
25	<p>【高齢者や車いす使用者などの対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都営住宅に居住の方は、高齢者が多く、足の悪い方が大勢おります。足立入谷小学校はエレベーターもなく、上階への移動が困難です。近隣（足立入谷小学校）に居住している方々は、若い方が多いのでしょうか。歩けない人達をどうするか、一番悩むところです。 ・ハンディキャップ対策取れない（車椅子も上れない・・・人力で上げるのみ）。 	<p>足立入谷小学校付近は、荒川はん濫時の想定浸水深は1m前後となっています。1階にお住まいの方で、縁故等避難ができない方は、足立入谷小学校に避難する必要があります。</p> <p>足立入谷小学校を含めエレベーターが無い避難所において、高齢者や車いす使用者の方が避難してきた場合、避難された方の協力も得ながら、上層階に設定した「要配慮者居室」へ移動させてください。そのほかの避難所の運営についても、避難者のボランティアの協力を得て進めてください。</p>
<p>ペット動物同行避難について</p>		
26	<p>【ペット動物の対応】</p> <p>コロナ禍の対策や江北高校の情報等よくまとまっている。</p> <p>ペットと同伴避難可となっているが、犬猫アレルギーがある方への対応はどうするかが気になった。</p>	<p>動物アレルギーの避難者に対応するため、避難所にペット動物専用の居室を設け、避難者とペット動物は別々の居室に受け入れることとしております。</p>
<p>備蓄倉庫・物品について</p>		
27	<p>【備蓄物品が浸水フロアにある】</p> <p>避難所の備蓄倉庫は1階です。ほとんどの備品を2階以上に移動する事となります。</p>	<p>備蓄倉庫の場所は、水害時は浸水しない上層階にある方が望ましいと考えますが、現在多くの避難所では、震災時に利便性が高い1階に備蓄倉庫があります。</p> <p>避難所運営会議の皆さまと低層階・上層階のメリット・デメリットを検討し、そのうえで上層階に備蓄物品を移動希望される場合は、学校関係者と備蓄スペース確保について協議していきます。</p>
28	<p>【リヤカー・台車の増配備】</p> <p>部員の高齢化も進んでおります。リヤカーや台車の増車をお願いします。</p>	<p>台車は学校の備品を活用いたします。また、リヤカーについては、避難所ごとの状況と備蓄倉庫の空き状況を確認したうえで、増配備を検討いたします。</p>
29	<p>【備蓄物品の配布】</p> <p>備品をどこまで渡して良いか？</p>	<p>生理用品など備品については、避難者から要望があった場合、適宜配布してください。</p>
30	<p>【各部の役割をポスター掲示】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初動から、各部毎の分かりやすいポスターを事前に用意しておかなくてはいけない。ビブスを着用していると部に関係なく質問を受ける事になると思うので、ポスターを写メしておけば答えがスムーズになる。 ・追加のボランティア等にも毎回全て説明するのは大変なので、今、決まっている事は、大きなポスターにして各部で活用できると良い。 	<p>各部の役割を記した掲示物については、現在作成中です。出来上がり次第、皆さまにご提示したいと考えております。</p> <p>それまでの間、手順書第I部17・18ページ（各部の役割を記載したページ）を拡大コピーしたりホワイトボードに記すなどのご対応をお願いいたします。</p>

【1 水害時の避難所運営等の対策について】

No.	意見・質問 (以下原文のまま)	災害対策課 回答
31	<p>【老眼鏡の備蓄】 カードの字が小さいので、眼鏡も受付に必要。</p>	<p>今後、老眼鏡については、配備を検討してまいります。そのほか、避難所で必要とされる備蓄品の項目については、随時見直しを検討してまいります。</p>
32	<p>【電源タップの備蓄】 スマホ等充電に多めの口のついている電源タップが沢山用意されてるのか？</p>	<p>30台のスマホ等を同時に充電できるよう、電源タップ(10個口)などの機器を配備しております。</p>
<p>開設する避難所について</p>		
33	<p>【青井小の避難所開設】 青井小は綾瀬川が近くて水害時には避難所としては適していないかと思えます。</p>	<p>青井小学校は綾瀬川の近くに立地していますが、綾瀬川が氾濫した場合の想定浸水深は0.27mとなっています。一方、荒川氾濫時の想定浸水深は4.66mであるため、青井小学校は、浸水しない3・4階を避難所として使用する予定です。</p>
34	<p>【避難所の距離・周知】 ・当町会の避難先で江北高校は遠すぎる。 ・当地区で避難先が江北高校であることをどの程度知っているか。それを区民がどれ程知っているのか。</p>	<p>各避難所運営会議が運営する避難所は指定していますが、住民の方が避難する避難所は指定(限定)しておりません。また、令和3年3月に区内全戸配布した「あだち防災マップ&ガイド」にて、開設する避難所を周知しています。</p>
35	<p>【避難所の開設箇所・時間】 ・被害(水害時に河川のはん濫の恐れ)の時刻、程度で避難先が変わる、または変えるなどがあるか？</p>	<p>荒川のはん濫が危ぶまれる場合は、すべての避難所を一斉開設します。また、それ以外の河川はん濫が危ぶまれる場合は、気象情報をもとに開設する避難所を決定します。避難者のことを考え、早い段階で、避難情報発令を検討してまいります。</p>
<p>分散避難について</p>		
36	<p>【分散避難】 水害は2～3日前に行政からの情報提供があるので、分散避難を考えたほうが良い。</p>	<p>区としても、分散避難を推奨しており、あだち広報やホームページ、イベント等で区民に普及啓発しています。</p>
37	<p>【分散避難の周知】 中川地区は地理的に平坦で、土砂崩壊などはあり得ない。一方、中川土手の決壊はあり得るが、その情報は時間的余裕がある。台風19号時は全員避難を強調したため、避難しないと非協力的と思われるのを気にして、自宅の2階でも良いと思いつつ、避難に来た人も少なからずいた。平素からの避難は、避難に来るだけではないことを周知させる活動の重要性を実感します。</p>	<p>避難所には真に必要な方のみ避難していただき、その前に、在宅避難や縁故等避難を検討する「分散避難」を区では推奨しています。「分散避難」については、あだち広報5月10日号、8月10日号に掲載し周知したほか、リーフレットを作成・配布し啓発を図っています。</p>

【1 水害時の避難所運営等の対策について】

No.	意見・質問 (以下原文のまま)	災害対策課 回答
垂直避難について		
38	<p>【垂直避難】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水害時の最も効果的な避難は垂直避難。しかし、実際には多くの課題が。 ・町会の方から高い建物がない場合、マンションはオートロックの為入れない場合、どうしたら良いか相談がありました。 	<p>区としては、都営住宅やマンション等への垂直避難は、命を守るための最後の手段であると考えているため、区民の方々には在宅避難や縁故等避難、避難所への避難を検討していただく「分散避難」のご協力をお願いしています。</p> <p>また、垂直避難先として警察ではクイック退避建物、区では都営住宅の空き住戸等の確保に努めております。避難所運営会議の中でご要望があれば、ご案内可能な施設を区から情報提供させていただきます。</p>
39	<p>【都営住宅の空き住戸】</p> <p>事前に住宅の空いているところがわかっていると安心です。</p>	<p>区では東京都と協定を結び、一部の都営住宅の空き住戸を避難できる場所として確保しています。空き住戸がある都営住宅の自治会長等に対しては、あらかじめ部屋番号をお伝えしています。毎年更新されるため、継続して確保できるわけではありません。</p>
町会でできる事前の備え		
40	<p>【町会内で準備を整える必要性】</p> <p>事前に町会内において話し合いを行い万一の準備をしておく必要性。さらに、町会の中の各支部各班での話し合い等。</p>	<p>スムーズな避難所開設・運営ができるように、各町会・自治会内でも手順書の習熟をお願いいたします。</p>
41	<p>【近隣とのコミュニケーション】</p> <p>常日頃近所同志のコミュニケーション交流を時間をかけて行わないと不審者の進入とトラブルの元になります。一朝一夕に実現できないのが問題です。</p>	<p>災害時に共助は重要であるため、毎日の積み重ねで時間はかかると思いますが、いざという時のために日頃からご近所同士でコミュニケーションをとるようにしてください。</p>
その他		
42	<p>【避難所専用建物の建設】</p> <p>欲を言えば学校を使うのではなく、災害専用避難会館を建設し地域に避難民を一挙に避難させられることが出来る将来型施設を都住の跡地に確保してはどうか。これは注目を浴びるがどうでしょう。</p>	<p>現在、区の方針としては、平常利用している建物を災害時に避難所として使用することを基本としています。</p> <p>また、すべての区民を受け入れるだけのスペース確保はできないため、災害専用の建物を建設することは考えておりません。</p>
43	<p>【中川地域センターの扱い】</p> <p>足立区に104箇所ある避難所運営会議で、千寿双葉小の運営会議に千寿青葉中が傘下に入っているところが計10箇所あるが、大谷田小の場合、隣接の中川地域センターも避難所開設されるのに、運営会議に入っていないので、入れた方が良いのではと思います。</p>	<p>大谷田小学校の避難所運営会議については、水害時には中川地域センターも避難所運営できるよう調整を進めています。</p> <p>しかし、震災時については、他の住区センターと同様に中川地域センター（長門住区センター分館）を避難所として開設する予定は現在のところございませんが、開設する避難所を拡充すべきかについては、今後検討させていただきます。</p>

【1 水害時の避難所運営等の対策について】

No.	意見・質問 (以下原文のまま)	災害対策課 回答
44	<p>【避難所までの誘導】 避難者への避難場所への誘導を明確にする事。</p>	<p>区から避難情報を発令する際には、どこの避難所を開設するか明確にし、区ホームページやA-メール、LINE、SNSなどあらゆる手段を通じて広報いたします。</p> <p>ただし、避難所のスペースは限られていることから、避難所での三密を避けるため、一人ひとりが事前に避難所以外の避難先を考える「分散避難」のご協力をお願いしています。</p>
45	<p>【施設利用の明確化】 【避難者受入人数の明確化】 ・学校施設の避難所転用箇所の明確化 ・避難受入人員数の明確化</p>	<p>水害時に使用できる居室については、その年度の教室の割り振りにあわせて、区と学校関係者で協議しています。そのうえで、施設利用計画書および受入人数（目安）などを水害時避難所運営手順書第Ⅱ部に反映させ、避難所運営会議の皆さまへご提示いたします。</p>
46	<p>【学校児童・生徒の扱い】 時間にもよるが、学校児童はどうするの？</p>	<p>避難所となる施設の通常利用中止の時期について、教育委員会と協議し、そのうえで避難所開設のタイミングを決定いたします。台風接近の時間帯にもよりますが、児童・生徒は自宅に帰宅しています。</p>
47	<p>【避難者に対する対応】 災害時に避難される方々に対し、優しく接し、トラブルのないよう対応出来ればと思います。</p>	<p>多くの避難者は不安を感じている中で避難してきています。少しでも安心できる避難所を目指し、避難者へのご対応をお願いいたします。</p>
48	<p>【ブレイカーの位置】 各校毎のブレイカーの位置を資料に記載して欲しい。</p>	<p>ブレイカーの操作については、基本的には学校関係者に確認して対応いたします。今後、手順書に落とし込むか否かについては、学校関係者と協議したうえで決めさせていただきます。</p>
49	<p>【抜粋版の手順書作成】 コロナで訓練が出来ていないので、いきなり本番が来たら対応出来ないと思うので、手順の資料を数枚にまとめてほしいです（運営側が持って動ける様に）。</p>	<p>手順書第Ⅱ部の内容は、避難所開設に伴う連絡方法から避難所の設営、開設、運営、閉鎖まで一連の手順を記載しているため、現在のところ抜粋した資料はございませんが、今後より良い資料の作成を検討してまいります。</p>

【2 避難所運営訓練等について】

No.	意見・質問 (以下原文のまま)	災害対策課 回答
訓練実施の可否について		
1	<p>【避難所運営訓練実施の可否】 最近の被害事例から、訓練等の必要性は感じているものの、「コロナ」が落ち着くまでは無理である（ほか1件）。</p>	<p>いつ起こるか分からないため災害に備え、避難所運営訓練を実施することは重要です。コロナ禍では、訓練の内容を工夫（一般参加を募らず少人数、密を防ぎ短時間）し、コロナ禍でもできる訓練の実施を可能な範囲でお願いいたします。</p>
2	<p>【役員全体で対応できる体制の構築】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難所運営訓練については、今コロナ禍の中、なかなか行うことが難しいと思い、又役員の高齢化等問題がありますが、訓練が出来なくても個人的に負担にならないよう、極力全員でカバーしながら災害時に対応出来るよう心掛けたいと思います。 ・コロナ関係でしばらく行われていない。全体訓練か、運営会議役員会を行いたいと思っています。 	<p>避難所の運営には、避難所運営会議の皆さまの力が不可欠です。いざという時に備え、避難所運営会議の一部の方だけでなく組織の全員が水害時避難所運営手順書を読み込んでいただくとともに、避難所運営訓練を通して習熟に努めてください。</p>
3	<p>【役員会や訓練などの実施の必要性】 私は今回運営従事者になりましたが、ほとんど何もわかっていません。ですので、避難所運営手順書をいただき、少しは学習することができ大変助かっております。 ただ訓練もしてなく、第一人が（役員）集まってきてくれるのが心配です。地域の運営従事者の役員体制を明確にしなければいけないと思っています。コロナ禍で江北高校の連絡協議会もできないとのこと。役員の人交代もあるようなのですが、地域での集まりは必要ではないでしょうか。</p>	<p>令和元年台風第19号時を教訓に「誰が・いつ・何をするか」を明確にした「水時避難所運営手順書を作成いたしました。ただし、本手順書を個々人で読むだけでは、いざという時に十分機能しない恐れがあります。 新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、避難所を運営する避難所運営会議、学校関係者および区派遣職員の3者が、顔合わせや役員会、訓練等を実施し、手順書のブラッシュアップや習熟を図ります。 また、避難所運営組織図についても、実際に参集できる役員かどうかを念頭に置いて、毎年見直しするようお願いいたします。</p>
4	<p>【避難所運営訓練実施の時期】 災害は忘れた頃にやってくるのではなく。災害は頻繁にやってくるので、その見極めが大事。今後訓練はやはり台風シーズン前に実施してほしいです。</p>	<p>今年度は、年度当初から緊急事態宣言が断続的に発令されたことにより、多くの避難所で台風シーズンまでに訓練実施に至りませんでした。 今後は、訓練の内容を工夫（一般参加を募らず少人数、密を防ぎ短時間）したうえで、コロナ禍でもできる訓練を台風シーズン前の実施を含めて検討をお願いいたします。</p>

【2 避難所運営訓練等について】

No.	意見・質問 (以下原文のまま)	災害対策課 回答
訓練内容について		
5	<p>【実践に即した訓練の実施】 訓練のための訓練でやった気になっても意味がなく、実践に役立つものにすべきと考えます。従来の住民を動員しての訓練も、実際には町会・自治会役員が参加をお願いして動員して人集めしているのが実態で、台風19号時は、予想以上の人が来た反面、管理運営会議の組織員は、限られた自治会からの組織員が主体でやらざるを得なかった。反省すれば、自主的に集まるのにまかせ、組織メンバーへの連絡がなかった。</p>	<p>令和元年台風第19号を教訓に「誰が・いつ・何をするか」を明確にし、水害時避難所運営手順書を作成いたしました。 これからは、災害対策課職員が間に入り、避難所を運営する避難所運営会議、学校関係者および区派遣職員の3者が、顔合わせや役員会、訓練等を通して、日頃から顔の見える関係を築き、スムーズに避難所開設・運営ができるよう努めてまいります。</p>
6	<p>【訓練内容の検討】 短時間の訓練では思うようにならない時があります。何か集中的に絞った訓練が出来たらと思う。</p>	<p>訓練内容については、避難所開設に伴う連絡訓練や受付の設営、避難者居室の設営など各避難所運営会議の役員会や全体会の場で協議しています。 コロナ禍のため、時間など制約がある中での訓練実施となりますが、効果的な訓練となるよう区も一緒に訓練内容を検討してまいります。</p>
7	<p>【車いすの方など要支援者の訓練参加】 千寿小学校避難訓練について、毎年繰り返しの訓練を行っております。今までは地震中心の避難所訓練でした。今回、「水害時」内容が変わりました。避難へ声をかけて車椅子でも参加出来るように、高齢者が沢山の方が住んでおります。役所の担当者の協力をお願いしたい。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症がある程度収束し、一般の方も参加できる状況になりましたら、要支援者の方を訓練に参加するよう皆様方からお声がけするとともに、区からも防災の必要性を周知し、訓練に参加していただけるよう協力させていただきます。</p>
8	<p>【訓練実施で見えてくる課題】 コロナ禍とは言え、模擬訓練は必要と思う。その過程で様々は問題が出てくると思う。</p>	<p>いつ起こるか分からないため災害に備え、避難所運営訓練を実施することは重要です。訓練の内容を工夫（一般参加を募らず少人数、密を防ぎ短時間）したうえで、コロナ禍でもできる訓練を台風シーズン前の実施を含めて検討をお願いいたします。 また、訓練を通じて新たに出てきた課題・問題点については、改善策等を避難所運営従事者の皆さんで話し合ってもらい、必要に応じて水害時避難所運営手順書第Ⅱ部のブラッシュアップを図り、水害時に備えます。</p>

【2 避難所運営訓練等について】

No.	意見・質問 (以下原文のまま)	災害対策課 回答
9	<p>【水害時と震災時の避難所】 水害時の対応と地震等の災害時の対応について違いはあるのか？対応の違いがあればどのような点か？その時の対応方法は？</p>	<p>水害時と地震時の避難所運営手順は、多くの点で異なりますが、大きく異なる点は次のとおりです。 なお、現在、震災時の避難所運営手順書の整備を進めており、来年度以降、皆さまにお示ししたいと考えております。今しばらくお待ちください。</p> <p>①水害は数日前から備えることができますが、震災は前触れなく突然発生します。 ②水害時の避難所運営従事者は、避難所運営会議、学校関係者および区派遣職員の3者ですが、震災時は主に避難所運営会議の皆さまとなります。</p>
10	<p>【水害時と地震時の避難所】 水害と地震等では全く違うことと思いません。分けて考えた方が良く。訓練等1年おきに実施等考えるべきです。</p>	<p>水害・震災どちらもいつ起こるか分からない中では、区としてはどちらの訓練も重要と考えます。各避難所運営会議で話し合い、隔年で「水害」「震災」訓練を実施するなど、どちらの災害にも備えてください。</p>
その他		
11	<p>【大学の状況】 公立学校と違い、大学と区との話はどのようになっているのか。交渉は区が行うのでしょうか。従来の訓練では大学の職員は参加していません。</p>	<p>小・中学校と同様に、高校・大学等についても、水害時の連絡体制や使用できる居室を、区と学校関係者で協議しています。決まった事項については、水害時避難所運営手順書第Ⅱ部に反映させ、避難所運営会議の皆さまへご提示いたします。また、訓練にもご参加いただけるよう積極的に働きかけてまいります。</p>
12	<p>【足立区洪水ハザードマップ】 私は3年に一度の避難訓練を代々10回幹部として参加していましたが、一昨年やっと本格的に体験しました。が、どうも国の政策もあり荒川の堤防は決壊する可能性は低いと思っております。もし浸水に見舞われた後のハザードマップの作成も明確にしてみたいはどうでしょう。</p>	<p>区で作成している洪水ハザードマップにおいて、荒川がはん濫した際の浸水状況を掲載しております。 また、現在改訂を進めており、来年の出水期前までに新しい洪水ハザードマップが完成いたします。</p>
13	<p>【訓練参加者への意識改革】 訓練は必要と感じる。 また、訓練に参加してもらう為の意識改革をどのようにするか？</p>	<p>避難所運営従事者に対しては、本部長・庶務部長会議や役員会等の場で、引き続き、防災の重要性を伝えてまいります。 また、一般の方に対しては、商業施設等のイベントなどで幅広い世代に防災の普及啓発をまいります。加えて、避難所運営会議の中で、避難所運営訓練に興味を持ってもらえるような訓練開催チラシなどを作成し、各町会から回覧・掲示・配布していただくことで、町会加入を問わず多くの方の参加につながるよう努めてまいります。</p>

【2 避難所運営訓練等について】

No.	意見・質問 (以下原文のまま)	災害対策課 回答
14	<p>【避難所運営訓練の参加者集め】 皆高齢になりなかなか運営が難しい状態です。訓練を毎年やりますと慣れてしまい人集めが大変です。</p>	<p>活動が停滞している避難所運営会議の活性化も図るため、PTAの役員をはじめとした児童・生徒の保護者の皆さまや学校を利用しているスポーツ団体などに対し、避難所運営会議の一員としてご協力をお願いできるか検討してまいります。</p> <p>また、訓練内容についても、例えば水害時と震災時を想定した訓練を隔年で実施することやペット動物同行避難訓練、夜間訓練についても案内するなど、毎年同じ訓練とならないよう工夫してまいります。</p>

【3 その他災害対策について】

No.	意見・質問 (以下原文のまま)	災害対策課 回答
防災行政無線など災害時の情報発信について		
1	<p>【防災行政無線の改善】 避難情報の住民への広報について、台風19号時には防災無線が殆ど聞こえず、改善することになっていましたが、改善は完了したのでしょうか。</p>	<p>防災行政無線は、聞こえやすさを改善するため、令和2年度末で区内全域においてデジタル化が完了し、40箇所増設しました。しかし、台風など雨風がある状況では、聞こえないことを前提として対応する必要があるため、無線の内容を聞き直すことができる「防災無線テレホン案内」を設置し回線を大幅に増やしたほか、ホームページ上で文字でも確認できるよう改善を図りました。</p>
2	<p>【防災行政無線の音量】 区内に流すアナウンスですが、私のいるマンションからは聞き取りずらく、特に具体的なことは何を言っているかわかりません。できればこういう緊急の時は音を大きくしていただくとかは出来ないのでしょうか？</p>	<p>防災行政無線は、平常時より災害時の方が音量を大きくすることができます。また、聞こえやすさを改善するため、令和2年度末で区内全域においてデジタル化が完了し40箇所増設しました。 しかし、台風など雨風がある状況では、聞こえないことを前提として対応する必要があるため、無線の内容を聞き直すことができる「防災無線テレホン案内」を設置し回線を大幅に増やしたほか、ホームページ上で文字でも確認できるよう改善を図りました。</p>
3	<p>【足立ケーブルテレビの活用】 避難する際の持ち物の徹底などあると思いますが、それなどは足立ケーブルテレビなどからも放送していただけるとありがたいなと思います。</p>	<p>区の避難情報は、区ホームページやAメールなどのほか、足立ケーブルテレビも活用し情報発信いたします。 詳細情報については、区ホームページやAメール、LINEなどで発信いたしますが、2食分の食料やタオルなど、最低限避難所に持って行くべきものをケーブルテレビで情報発信することについては検討させていただきます。</p>
4	<p>【令和元年台風第19号時の避難所】 災害発生時の緊急性について、氾濫か決壊か、場所はどこかによって時間差がある。令和元年の19号ではテレビニュースで住民がパニックになり、避難所へ殺到した。</p>	<p>令和元年台風第19号時は、段階的に避難所を開設したこともあり、先行して開設した避難所に殺到したという状況でした。 今後は、荒川はん濫が危ぶまれる場合は、すべての避難所を一斉開設、それ以外の河川はん濫が危ぶまれる場合は、気象情報をもとに開設する避難所を決定します。また、避難者のことを考え、早い段階での避難情報発令を検討してまいります。</p>
その他		
5	<p>【梅田ポンプ所】 梅二小エリアでは、梅田ポンプ所があり大きな力を発揮している。その能力についてもっとPRしてはどうか。</p>	<p>梅田ポンプ所は、下水を水再生センターへ送るほか、台風や豪雨の際に、道路の雨水ますから下水道管に流れ込む大量の雨水を速やかに荒川へ放流して、内水はん濫から街を守る役割となっております。 ポンプ所の有用性については、防災講演会等で伝えてまいります。</p>

【3 その他災害対策について】

No.	意見・質問 (以下原文のまま)	災害対策課 回答
6	<p>【災害に対する意識改革】 どんな災害も一人一人の意識改革をどういう形で身につけてもらうか？</p>	<p>あだち広報やホームページを通して、継続的に周知、啓発しています。 また、コロナ禍で限られた実施になりますが、訓練やイベント等を通じ幅広い層へ周知・啓発していきます。</p>
7	<p>【防災士の研修および地域住民への情報共有】 中川北小避難所運営会議には防災士が2名（男1女1）おりますが、足立区の下で組織化して定期的な研修や区と地域住民との情報共有化を強くしていただきたい。</p>	<p>毎年、防災士研修会を開催しておりますので、ぜひご参加ください。 また、避難所運営会議の場で情報共有を図るとともに、地域の方から防災講演会の依頼があった場合、災害対策課職員が対応しております。</p>
8	<p>【外国人・帰宅困難者対応】 水害時の外国人、帰宅困難者等の対応。</p>	<p>水害時は、地震とは異なり事前に危険性が分かることから、帰宅困難者対応は想定しておりません。また、日本語でのコミュニケーションが難しい方への対応として、翻訳機の導入など検討を進めています。</p>
9	<p>【水害とその他災害の避難所運営】 そもそも水害とほかの災害で避難所運営は分けられないと思う。</p>	<p>水害時と地震は、どちらも避難所運営会議の方が運営することについては変わりありませんが、手順は異なります。 現在、震災時の避難所運営手順書の整備を進めており、来年度以降、当該手順書を皆さまにお示ししたいと考えております。</p>
10	<p>【8/20避難所開設に伴う連絡訓練】 令和3年8月20日に実施した電話連絡訓練は、避難所運営訓練の一環なのでしょうか。</p>	<p>今回、避難所運営訓練の一環として、スムーズに避難所開設・運営ができるよう避難所に集まらなくてもできる「避難所開設に伴う電話連絡訓練」を、令和3年8月20日に実施いたしました。ご協力ありがとうございました。 しかし、災害はいつ起こるか分からないため、新型コロナウイルス感染症の状況を見ながらになりますが、避難所に集まって行う避難所運営訓練も、実施に向けてご検討をお願いいたします。</p>